

④防災・地域の安全について

災害時の 2 次避難所として青山地区では緑が丘東小学校、青山公民館、三木北高校の各体育館となっており、収容人数が緑が丘東小学校 300 人、青山公民館 800 人、三木北高校 450 人とあるが、昨今のコロナウィルス感染症を見据えた避難所運営対応からしても、青山公民館の収容人数（800 人）は適切なキャパシティとは思えない。

収容人数を再確認し、防災マップ等の修正が必要ではないか。また、コロナウィルス感染症に対応した避難所運営マニュアルの研修、共有状況、実施内容についても開示していただきたい。

⑤ゴミ収集回数の見直しとゴミステーション利用に関わるガイドライン策定について

コロナ禍によりステイホームが増えたことで自ずとゴミが増えている。可燃ゴミやプラスチックゴミは週 1 回以上収集日があるため、問題ないが、缶、瓶、ペットボトル、粗ごみ、埋立ごみ等は収集回数が月 1 回しかなく、1 ヶ月分のゴミを貯めないといけない量が増えて処分に困っている。缶やペットボトル等のゴミを可燃ゴミに紛れさせて捨てている家庭もあり、ゴミの削減、適切な分別処分の促進、リサイクル品の増加を促すために収集回数を増やして欲しい。

また、自治会未加入者のゴミステーション利用については多くの自治会が頭を悩ませている。自治会費を払わず利用し、ゴミステーションの清掃当番も行わない等の不公平が起きている。そこで自治会への入会、未加入に関係なく市民としてゴミステーション利用、清掃等を義務付けるガイドラインの策定を切望する。

⑥防犯カメラの管理について

兵庫県、三木市、防犯協会より助成金を頂き、各丁目で防犯カメラの設置を進めてきた。警察より防犯カメラの映像確認を自治会へ求められたが、対応に苦慮することがある。定期メンテナンスと維持管理について、専門知識が必要なことと、自治会役員の年度交代により引き継ぎが難しくなっている為、費用面は自治会負担のままで良いが、市で一括した専門業者による定期メンテナンス、維持管理に切り替え出来ないものか。